

## 第 33 回原状回復対策協議会（1 月 24 日開催）協議結果について

### 1. 平成 20 年度の事業実施状況について

冬期搬出については昨年同様、危機管理会議で安全運行を徹底し搬出台数を 20 台程度とし実施しております。

### 2. 汚染土壌対策（地下水域より上の不飽和帯）の進捗状況について

N 地区不飽和帯の土壌汚染浄化については、平成 20 年 7 月からホットソイル工を開始し、当初の計画どおり 11 月末をもって浄化作業を完了しました。汚染浄化の確認として、土壌溶出量試験等を行い、VOC が土壌環境基準以下であることを確認しました。

なお、掘削済みのエリアは砂及び非汚染土で埋め戻しを行い、地下水による再汚染を防止するため、地下水が上昇しないよう揚水用の大型井戸を 6 本設置しました。

### 3. 汚染土壌対策（地下水域より下の飽和帯）の進捗状況について

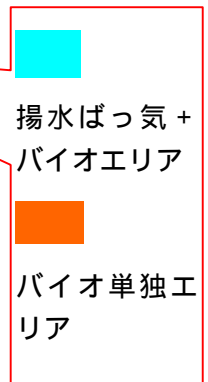
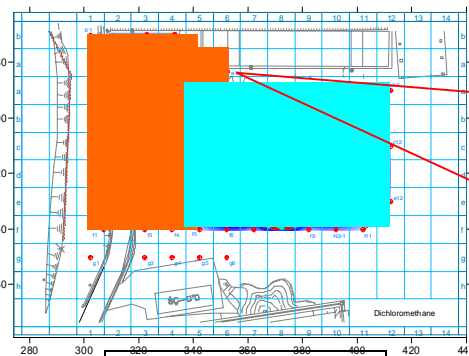
#### （1）揚水ばっ気の現地適応性試験結果

井戸間隔に関わらず、揚水した汚染水の VOC 濃度は揚水継続時間とともに同じように低減しており、揚水ばっ気での汚染浄化は可能であることを確認しました。

#### （2）バイオレメディエーションの適応性試験結果

室内試験の結果、低濃度の VOC 汚染では汚染の分解が進むことが確認されたことから、当サイトの地下水（土壌）には分解微生物がいると考えられます。また、高濃度の汚染では分解しにくいことも確認されました。

そのため、高濃度で検出される汚染区域には、揚水ばっ気で VOC 濃度を低下させた後に、バイオレメディエーションを行い、低濃度の汚染区域はバイオレメディエーション単独で浄化を行う方向で検討しています。なお、詳細な計画は、今後の汚染土壌技術検討委員会において決定することとしました。



## 第 34 回原状回復対策協議会を開催します。

どなたでもご自由に傍聴できますので、皆様のご来場をお待ちしております。

日時 平成 21 年 3 月 21 日（土） 14:15 ~

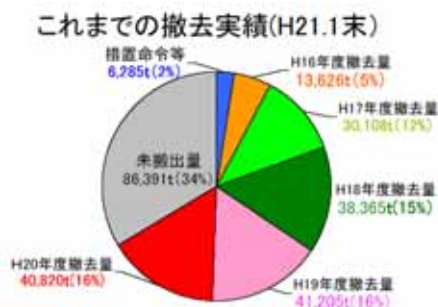
場所 二戸地方振興局 1 階 大会議室（二戸市石切所字荷渡 6 - 3）

## 廃棄物の撤去状況について（平成 21 年 1 月末現在）

表: 20 年度の月別撤去量(代執行)

月	撤去量 (トン)	進捗率 (%)
20年4月	136	0%
20年5月	3,755	9%
20年6月	5,407	21%
20年7月	4,160	30%
20年8月	3,742	38%
20年9月	2,450	44%
20年10月	6,818	59%
20年11月	6,256	73%
20年12月	4,984	84%
21年1月	3,112	91%
合計	40,820	

平成20年度撤去目標量 45,000トン



岩手県側の推定総量 256,800 トンのうち、66%（累積撤去量 170,409 t）を撤去しました。